

日蓮宗 妙栄山本陽寺

仙石秀久が小諸城主時代の、文禄5（慶長元年、1596）早世した嫡室正妻、本陽院殿繁室妙栄大禅定尼の冥福を祈って小諸に建立したが、子息忠政が上田城主に転じた時、ここに移した寺である。

上田市教育委員会



本堂



仙石忠俊墓（宝篋印塔）



仙石家 本陽寺墓所



三十番神堂本殿



ざくろ祭



鬼子母神堂



三十番神堂



ざくろ祭



鬼子母神像

仙石氏

1622（元和8）年、小諸から入封した秀久の息子忠政は、廃城同然となっていた上田城の復興を計画。1626（寛永3）年、工事に着手するが、1628（寛永5）年、忠政病死。現在本丸に残る3基の隅櫓、消滅した他の4基の隅櫓はこのとき造られたものである。

仙石氏は忠政以降、政俊、正明と3代84年間にわたり、上田を治め塩田平の溜池の築造、改修などによる農業振興と、上田縞（紬）などの産業育成に力を注いだ。

上田城 城下町絵図アーカイブ
<https://museum.umic.jp/uedajo/index.html>

仙石氏系図

秀久①

1590（天正18）年、小田原攻めのおり、秀吉軍に加わって奮戦。改めて信濃国佐久郡を与えられ、小諸城主になる。

忠政②

1614（慶長19）年、亡父の遺領を継ぎ、小諸城主となる。
 1622（元和8）年、上田へ移封。（6万石）

政俊③

1628（寛永5）年、父の死よりわずか12才で、家督を相続し、上田藩主となる。
 1634（寛永11）年、従五位下越前守に叙任。

忠俊

1654（承応3）年、従五位下兵部少輔に叙任。家督を相続しないうちに、1667（寛文7）年、江戸に於いて卒去。28才。法名春光院殿梅心日香大居士。（宝永3年本陽寺に改葬）

正明④

1669（寛文9）年、11才の時祖父政俊隠居あと家督相続。
 1706（宝永3）年、上田から転じて、但馬国出石（兵庫県）へ移封。

（仙石氏史料集 上田市立博物館）



秀久護身の少観音立像 御縁仏

「此縁仏は一寸八分の観音の像なり、常に信仰にて軍中といへども、かつて身を離さざる持仏なり（今尚存在）」とある。



兜守り本尊 日蓮聖人坐像 仙石政敬氏所持



鬼子母神立像



仙石氏旧臣山宮氏奉納の槍 穂先79cm 柄278cm

本陽院所用の薙刀 刃渡40cm 柄188cm